

実施・達成状況結果報告書及び評価書

平成 26年 2月 12日

ワーキンググループリーダー 見山 友裕

実施年度	平成 25 年度
ワーキンググループ名	キャリア教育ワーキンググループ
グループの目的	キャリア教育の高度化と体系化
グループの目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで行ってきたキャリア教育をさらに充実させるために関係科目全般の見直しを行う。</li> <li>・これまで主に紙ベースで行ってきたキャリア教育の基本データとなる「ポートフォリオ」について、有効的な活用法と電子化について検討を行う。</li> <li>・地域産業界について理解を深めるための科目「地域産業論」「リーダーシップ論」について、講師の招聘元企業を本学近郊から連携大学や中国・四国地域の企業全体に拡充し、幅広くビジネスマインドを身につけさせる。</li> </ul>

〔 達成状況評価 〕

目標項目	目標達成状況	自己評価
科目全般の見直し	「キャリア基礎」必修化, 授業内容見直し(言語表現法他), 担当講師見直し(非常勤講師を含めて)	十分に達成されている
ポートフォリオの活用法と電子化	予算が十分ではなく, 外部業者委託を断念し, ポートフォリオ電子化に伴う問題点を検討。現行の紙ベースによる学修ポートフォリオを電子化することを決定, 作業を進める。	十分に達成されている
講師の招聘	グループ連携大学の岡山理科大学で作成されたデータベースをもとに, 岡山県内企業の講師 2 名を「地域産業論」の講師として招聘	十分に達成されている

※ 「目標項目」は「グループの目標」に基づいてさらに具体的な項目を策定する。

【推進本部会議評価】

評価	評価コメント
概ね趣旨を反映した事業遂行が図られた	キャリア科目の構築や連携大学との交流等、成果を上げている。ポートフォリオの電子化も着実に作業を進めている。

推進本部会議委員長(取組担当者) 酒井 吉雄

【評価委員会最終評価】

評価	評価の理由
目的、目標に概ね適合している	地域産業界の理解を目標にしたキャリア教育が実施され、他大学と連携が図られている。今後は、ポートフォリオの運用の波及効果の検討と、教育効果についてグループ連携大学との交流、ディスカッションを推し進めることが求められる。

評価委員会委員長 稲垣 詠一